

【佐用町 森林経営意向調査業務】

森林所有者アンケート集計結果（速報値）

基本概要

アンケート名：兵庫県佐用郡佐用町 山林所有者アンケート

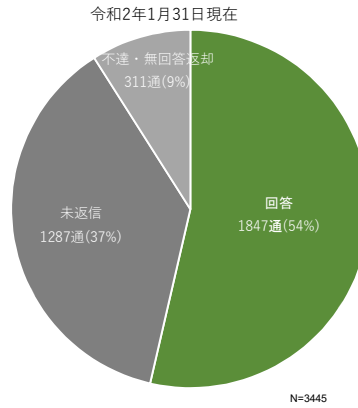
目的：森林経営管理法の制定に伴い、佐用町独自の今後の森林政策の方針検討と、さらなる森林整備事業の促進に向けた施策の実施のため、森林所有者への意向調査を佐用郡森林組合員を対象に実施した。

回答期間：令和元年11月14日～12月15日  
（※集計は令和2年1月31日までの回答を反映）

送付数：3,445通

回答数：1,847通（不達・無回答返却：311通）

業務委託先：株式会社古川ちいきの総合研究所

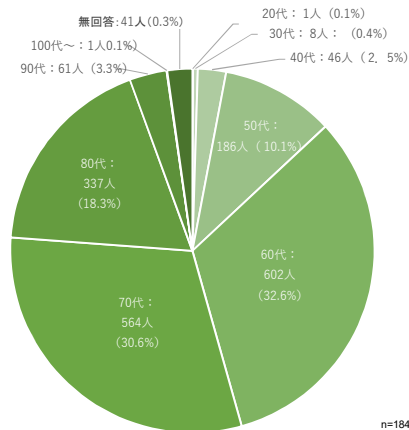
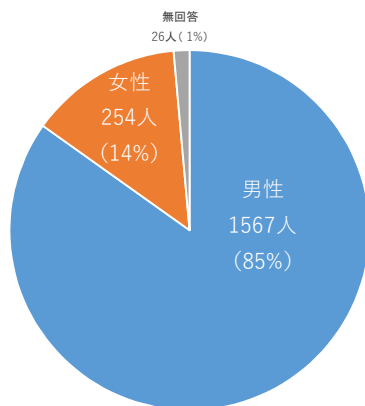


N=3445

Page 1

属性  
性別・年齢

回答者の内、男性が85%の1,567名を占める。年代は、20代から100代まで幅広い世代からの回答が集まったが、高齢者が大半を占めており、回答者の平均年齢は70.7歳となった。



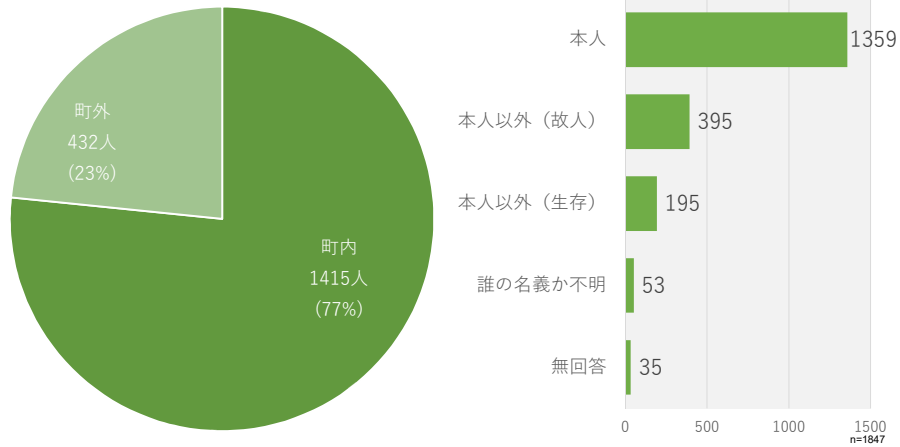
n=1847

回答者の9割近くが男性。高齢化が顕著。

Page 2

## 属性 住所・登記名義

回答者の住所をみると、町内回答者が1,415名で全回答者の77%を占めており、約8割の所有者が佐用町内在住であった。登記名義は回答者本人が最も多く1359人。次いで本人以外（故人）が多く395人であり、相続等所有権移転登記や組合員の変更手続きが完了していない所有者も多いことが分かる。



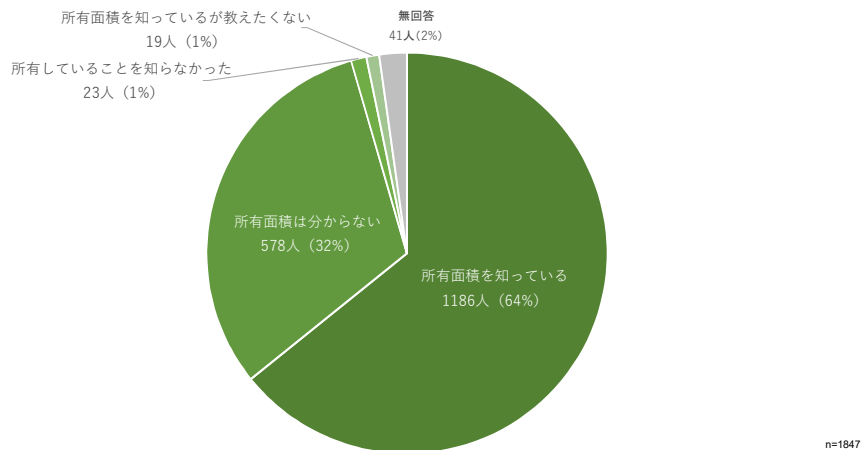
約8割の所有者が町内在住。所有者の明確化のために、不明へのアプローチが必要。

Page 3

## Q2 所有面積

Q:あなたの佐用町内での山林所有面積について教えてください。概ねの面積で結構です。

所有面積をある程度把握している人が最も多く1186人(64%)と過半数を占める。次いで「所有しているが、面積が分からない」人が多く578名(32%)と、所有面積を把握している人の半分程度。わずか1%程度ではあるが所有していることを知らなかった、知っているが教えたくない人もいる。

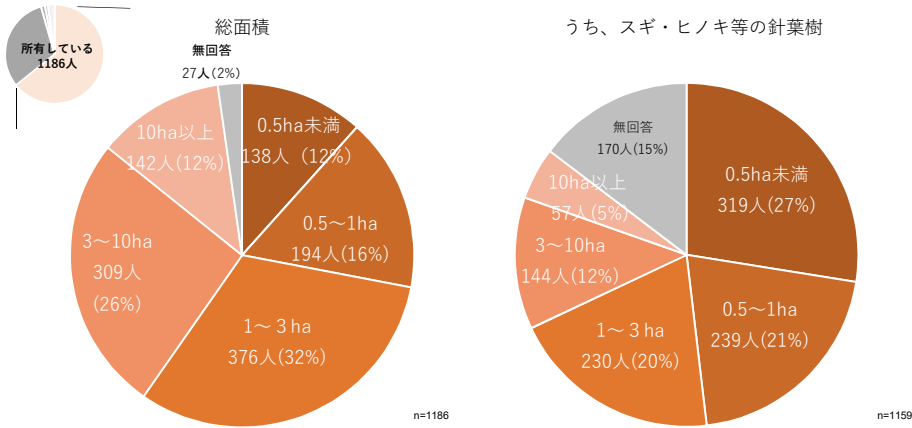


所有面積をある程度把握している人は過半数

Page 4

## Q2 所有面積

総面積は1~3haが最も多く376人(32%)、次いで3~10haが309人(26%)、0.5~1haが194人(16%)、10ha以上が142人(12%)、0.5ha未満が138人(12%)と続き、無回答を除きそれぞれ10%以上となりバランスよく回答が分かれた。スギ・ヒノキ等の針葉樹は0.5ha未満が最も多く319人(27%)となり、面積が大きくなるにつれて回答者が少なる傾向が見られた。

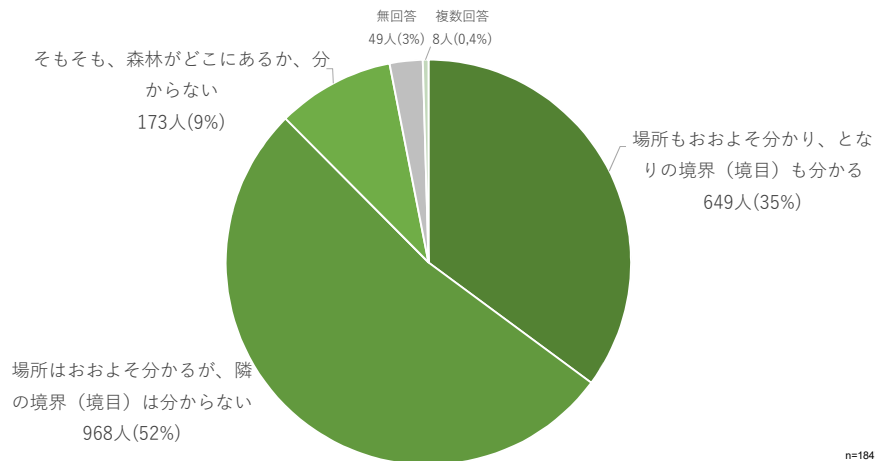


所有面積3ha以下が6割、人工林10ha以上の大規模所有者はわずか5%

## Q3 所有森林の把握

Q:あなたは、あなたの所有(管理)する森林の場所をご存知ですか？

所有森林の把握について、過半数の968人(52%)が「場所はおおよそ分かるが、隣の境界(境目)は分からない」と回答。次いで「場所もおおよそ分かり、となりの境界(境目)も分かる」が649人(35%)、約1割は所有する森林がどこにあるか全く把握できていない。

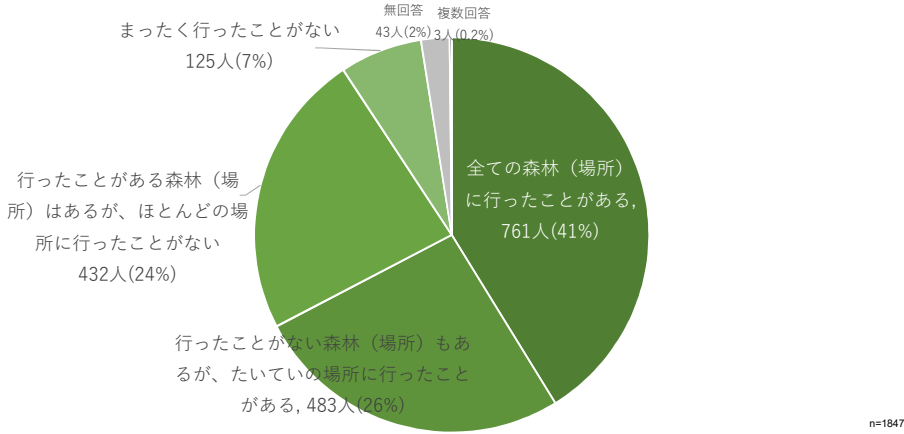


所有森林が「しっかり分かる：おおよそ分かる：全く分からない」 = 4 : 5 : 1

Q4

### 所有森林の訪問状況 Q:あなたは、あなたの所有(管理)する森林に行ったことがありますか？

所有森林の訪問状況については「全ての森林に行ったことがある」が最も多く761人(41%)、次いで「たいていの場所に行ったことがある」が483人(26%)、「ほとんどの場所に行ったことがない」が432人(24%)と続き、「まったく行ったことがない」人は125名(7%)で1割以下。



**所有森林にほとんど行ったことのない人が3割以上ある。**

Page 7

Q5

### 所有森林の管理状況 Q:あなたの山林は今、1)計画、2)保育、3)収穫について、どのような管理にありますか。

計画、保育、収穫、いずれにおいても、所有する森林全て「何もしていない(放置)」が最も多く約7割を占める。計画、保育、収穫の中では保育が比較的に管理がされている傾向にある。

	自分でしている		委託している		何もしていない		無回答	合計
	すべて	一部	すべて	一部	すべて	一部		
1) 計画	124	118	22	45	1334	118	86	1847
	6.7%	6.4%	1.2%	2.4%	72.2%	6.4%	4.7%	100.0%
2) 保育	106	192	24	80	1214	134	97	1847
	5.7%	10.4%	1.3%	4.3%	65.7%	7.3%	5.3%	100.0%
3) 収穫	63	89	23	57	1354	74	187	1847
	3.4%	4.8%	1.2%	3.1%	73.3%	4.0%	10.1%	100.0%

(人)

**計画、保育、収穫いずれにおいても所有森林全て何もしていない(放置)が約7割**

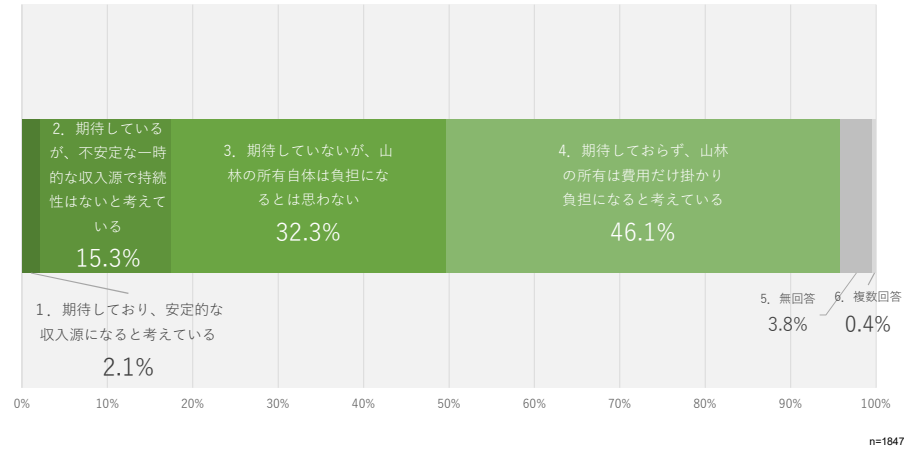
Page 8

Q6

## 収入の期待度

Q:あなたは、所有する山林を、いつか(次の世代への相続後も含む)収入になることを期待していますか？

収入の期待度について、「期待しておらず、山林の所有は費用だけが掛かり負担になると考えている」が最も多く851人(46.1%)。期待していないとする人全体では78.4%となり、8割近くを占める。



森林からの収入を期待していても、安定収入と考える人はほとんどいない。

Q7

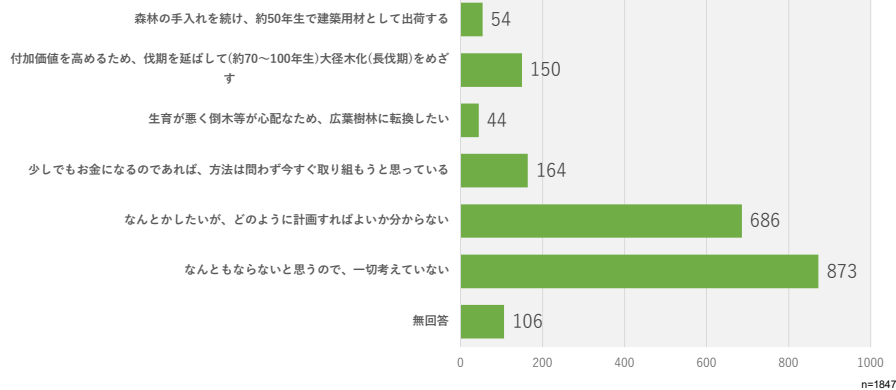
## 経営計画 1)

Q:将来の山林の主な経営(活用)計画を教えてください。

経営計画について、人工林については「なんともならないと思うので、一切考えていない」が最も多く873人。次いで「なんとかしたいが、どのように計画すればよいか分からない」が686人で、3番目に多かった「少しでもお金になるのであれば、方法は問わず今すぐ取り組もうと思っている」の164人を大きく離し、上位2つの回答がほとんどを占める。

### 1) スギ・ヒノキ・マツ等の人工林について

※複数回答可



経営計画を「一切考えない」と「考えたいが計画の方法が分からない」人がほとんど。

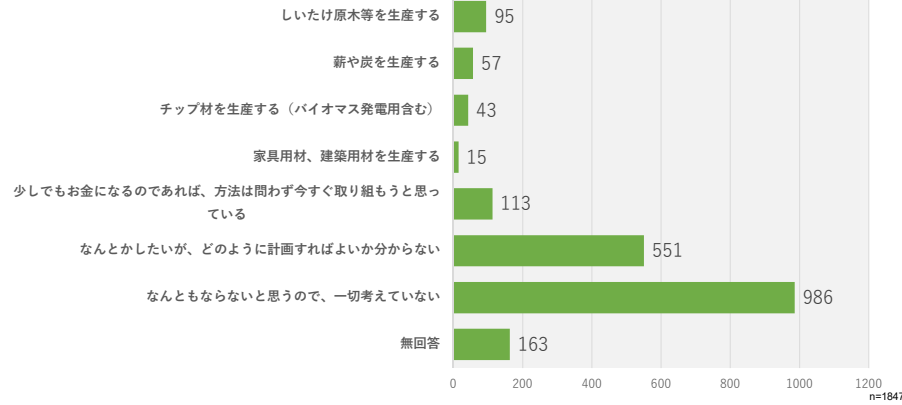
Q7

## 経営計画 2) Q:将来の山林の主な経営(活用)計画を教えてください。

広葉樹林の経営計画に関しては、人工林と同様に「なんともならないと思うので、一切考えていない」が最も多く986人、次いで「なんとかしたいが、どのように計画すればよいか分からない」が551人と多いが、人工林よりも一切考えていないとする人が多い傾向にある。

### 2) 人工林以外の広葉樹林について

※複数回答可



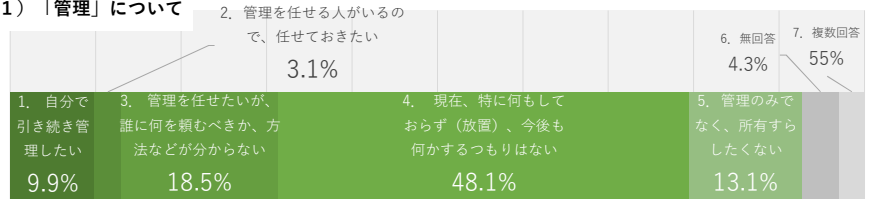
人工林よりも「一切考えていない」とする人は多い。

Q8

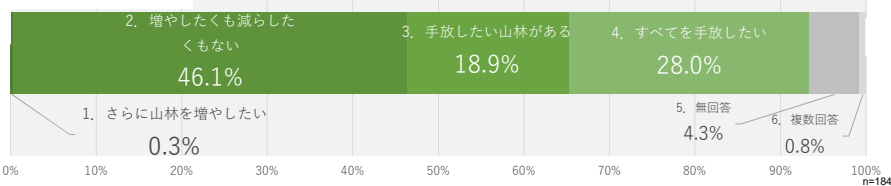
## 所有・管理の意向 Q:あなたの所有している山林の今後の所有や管理についての、今現在の考え方を教えてください。

所有・管理の意向について「現在、特に何もしておらず(放置)、今後何かするつもりはない」が最も多く889人(48.1%)、次いで「管理を任せたいが、誰に何を頼むべきか、方法などが分からない」が341人(18.5%)、「管理のみでなく、所有すらしたくない」が242人(13.1%)となり、管理意向が無い所有者は半数を超える。

### 1) 「管理」について



### 2) 「所有」について



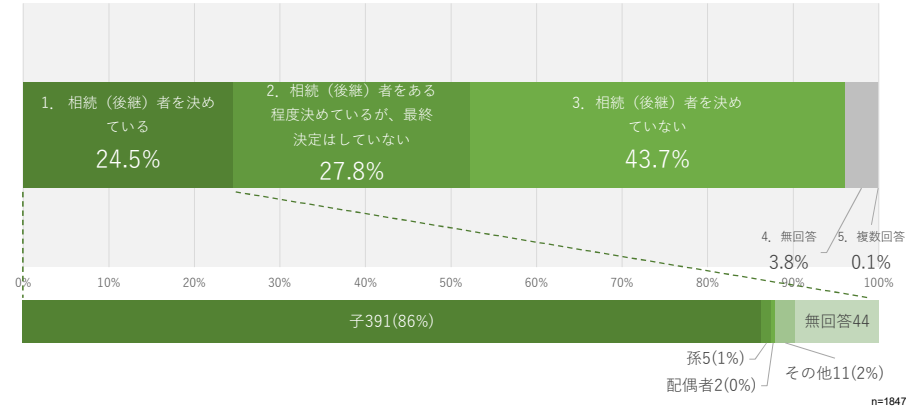
所有者の半数以上は管理意向が無く、現状維持の所有意向が強い。

Q8

## 所有・管理の意向 Q:あなたの所有している山林の今後の所有や管理についての、今現在の考え方を教えてください。

「相続（後継）者を決めていない」人が最も多く808人(43.7%)。次いで「相続（後継）者がある程度決めてはいるが、最終決定はしていない」が多く513人(27.8%)。相続（後継）者を決めてはいるが無回答を除き最も少なく453人(24.5%)。

### 3)「相続（後継）」について

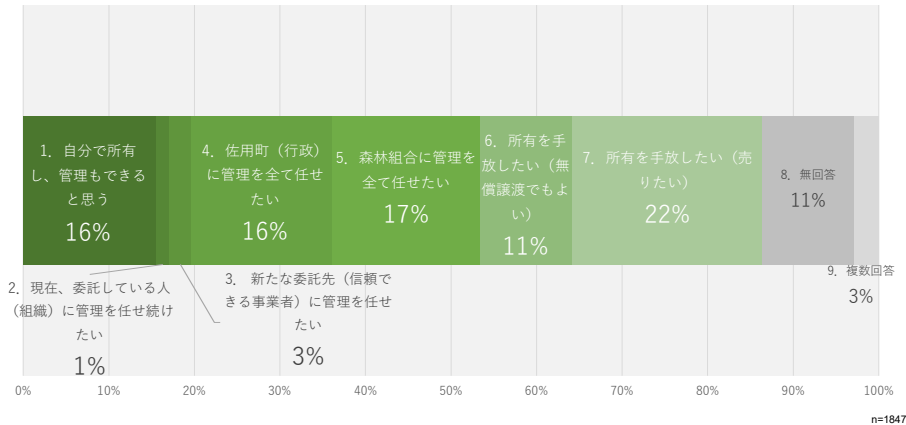


**相続（後継）者が確定している人は3割未満。後継者は子（息子・特に長男）が選ばれている。**

Q9

## 所有森林の将来像 Q:あなたの所有している山林は、10年後どのようになっているとお考えですか？

所有森林の将来について、「所有を手放したい(売りたい)」が最も多く410人(22%)。続いて、「森林組合に管理を全て任せたい」が320人(17%)、「佐用町(行政)に管理を全て任せたい」が304人(16%)と森林組合と佐用町(行政)に任せたい人はそれぞれほぼ同数、自分で所有・管理が出来るとする人は288人(16%)にとどまった。



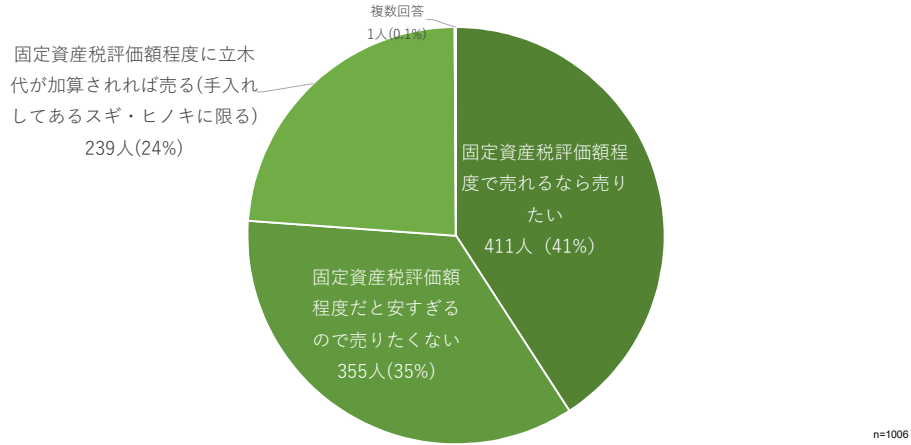
**自ら所有・管理ができると思う人は2割に満たない。手放したいと考える人は3分の1。**

Q10

### 森林売買の意向

Q:あなたの山林を手放したいが、寄付はしたくない(売りたい)場合、廉価でも売りますか？

森林売買の意向について、「固定資産税評価額程度で売れるなら売りたい」が最も多く411人(41%)、次いで「固定資産税評価額程度だと安すぎるので売りたい」が355人(35%)、「固定資産税評価額程度に流木が加算されれば売る」が239人(24%)となり、3つの回答が、おおよそ均等に分かれている。



**固定資産税評価額程度の廉価でも4割以上の人売りたいと考えている。**

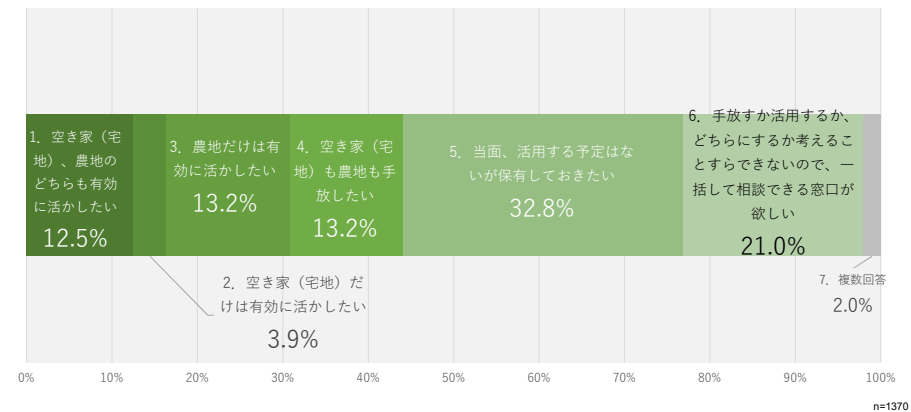
Page 15

Q11

### 宅地、農地の管理意向

Q:山林のみならず、活用されていない宅地、農地のお考えもお教えてください。

「当面、活用する予定はないが保有しておきたい」が最も多く450人(32.8%)、次いで「一括して相談できる窓口が欲しい」が288人(21.0%)。「空き家も農地も手放したい」が181人(13.2%)、相対する回答である「農地、空き家どちらも有効に活かす」とするのはほぼ同数の171人(12.5%)となった。農地、空き家どちらかのみを活かすとする場合は、「農地だけは有効に活かしたい」が198人(13.2%)で「空き家だけは有効に活かしたい」の54人(3.9%)の約4倍。



**保有はしておきたい人が最も多く、農地・空き家の所有・管理方針を決めるため相談窓口を望む声も多い。**

Page 16



Q12

## その他意見（自由記述）

### 自由記述内容の分類と回答数

大分類	小分類	回答数（人）
現状	手に負えない、何もできない	23
	これまでは何とかしてきたが…	6
	現状のまま問題はない	7
今後の意向	どうすれば良いか分からず悩んでいる	40
	山林を手放したい	34
	何とかしたい、活用したい	44
	町や森林組合に託したい	33
行政への要望	ビジョンや方針について	60
	林道、路網について	36
	境界管理について	17
	名簿、登記変更について	17
	連絡先の変更について	3
	寄付等について	17
	窓口機能について	20
	-	-
森林林業一般	-	23
アンケートへの趣旨	-	11
その他	-	1

計401人